

金曜行動 9月4日

◇札幌

核の“ごみ”反対

新型コロナウイルスの影響での休止期間を終え、半年ぶりに再開した北海道庁北門前の原発発行動。「国の無謀な原発政策のしりぬぐいをさせるな」「沖繩には米軍、北海道には核のごみ押し付けよう」としている。南北で連帯してたかおう」と意気高く行動しました。



道庁前で抗議する人たち＝4日、札幌市

寿都(すつ)町長の「核廃棄物処分場の誘致」前のめり発言に怒りの声がいっぱい。道原発連合の橋見弘代表は「知事は『北海道を核のごみ捨て場にするな』の道民の声を届けて」と訴えます。

日本共産党の岩淵友参院議員が「原発政策の破綻押

し付けは許されない」、畠山和也前衆院議員は「若い世代が声を上げています。連帯していきたい」と力強く表明しました。

「再稼働反対」のコールを響かせると、手を挙げて応える自転車の男性がいまいた。

◇秋田

政府与党を批判

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は、秋田市中通で407回目のデモ行進をおこない、17人が参加しました。

「安倍首相の辞任で、憲法を踏みこむ悪法強行、国政私物化、ウソ・ごまかし・買収みだれの数々の疑惑募引きは絶対許さない」と戦後最悪の暴走政治を告発。原発ゼロを求める国民の声と福島切り捨てで破綻した原発政策を押し進める政府・与党の姿勢を厳しく批判しました。コールや歌で疑惑追及、原発ゼロ法案の国会審議を強く求めました。

◇水戸

事故を忘れない

水戸市の日本原電茨城事務所前で、376回目の「原電いばらき抗議アクション」が取り組まれ、約20人が参加しました。

参加者はリレートークで「原発推進派は住まいや生業(なりわい)を奪われたフクシマの現状を見てほしい」「原発事故を絶対に忘れてはいけない」と訴え、東海第2原発(東海村)の廃炉を力説。再稼働ストップに向けて、来年の茨城県知事選で「再稼働反対の知事」を押し上げることが大事」との訴えもありました。参加者が「老朽原発再稼働反対」「子どもを守ろう、命を守ろう」とコールしました。

◇東京・足立

宣伝継続100回目

東京都足立区の北千住駅前で、「足立から原発ゼロ、再稼働反対の声を上げよう」と声を上げてきた、日本共産党の西の原えみ子区議地域の後援会が100回目の宣伝を行いました。

日本共産党の斎藤まりこ都議、西の原区議、「放射能汚染から子どもと健康を守る会」の吉田信一事務局長ら18人が参加。相原和夫同後援会代表はマイクを握り、「継続は力と6年間がんばり100回目を迎えました。原発ゼロの声を上げていきます」と決意を語りました。



関電東海支社前でコールを繰り返す金曜行動参加者＝4日、名古屋市中東区

◇名古屋

声聞いてちよー

名古屋市中東区の中部電力本店前の行動は、大雨のため、規模を縮小して行いました。武藤聡さんはマイクを握り、「中部電管内では、原発なしで8年、9年たち、今年の猛暑でも停電していない。原発は人間社会の手に負えず、廃炉にしよう」と語りました。

関西電力東海支社前には20人が集まり「再稼働なんてやめとこまい」「みんなの声をきいてちよー」などのコールを繰り返しました。北名古屋市の男性(65)は、「けさ、福井県で地震があった。原発周辺は震度2程度だったが、原発では揺れがなくても配管などのひび割れがたびたび起きている。少しでも揺れがあると、そこが壊れる」とスピーチしました。

原発再稼働ストップ



関電滋賀支社前での「キンカン行動」＝4日、大津市

◇大津

“地震国で危険”

滋賀県大津市の関西電力滋賀支社前で6週間ぶりとなる394回目の「キンカン行動」がありました。

ばいばい原発・守ろうびわ湖住民運動連絡会の井上敏一さんは「安倍首相は、原発を基幹電源に位置付けると言ったが、実際には原

発を輸出することができなくなった。『原発ゼロ』に向けて頑張ろう」と呼びかけました。湖南市から初めて参加した女性は「原発は、日本のような地震国には不向きで危険な発電」と話しました。

◇奈良

移住者も6歳も

402回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。

1年前に県外から移住したという女性は、「奈良でもこうした行動があることをうれしく思い、1人でも多い方がいいので」と参加。関西電力奈良支店前でデモ行進しました。最年少6歳の女の子も

「小さい声だけど」と、「原発いらない」のコールをしながら歩いていると、沿道から「頑張って」と声がかかりました。

デモ行進後に、「さよなら原発奈良県ネット」の共同代表・森本忠紀さんによる替え歌を合唱しました。

◇高松

瀬戸内を汚すな

高松市では「原発をなくす香川の会」などが、百貨店前でスタンディングし、市民有志とともに四国電力本店前でリレートークしました。

再稼働反対を求める旗やプラカードをもって「伊方原発廃炉」「瀬戸内を汚す核をなくせ」と声をあげました。

金曜行動 9月11日

◇札幌

まず原発止めよ

先週から再開した北海道反原発連合の金曜行動。途中から雨が降りだした札幌市の道庁北門前での377回目の抗議で参加者は「原発はいらない」などのポスターを掲げ、「泊原発再稼働反対」とコールを響かせました。

寿都(すつ)町長の核のごみ最終処分場選定に前のめりについて、参加者は「核のごみ処分場は北海道にいらぬ。ごみ問題をいうなら、まず原発を止めるべきだ」と怒りの声を口々にあげます。

スタッフの片岡満さんは「知事は条例に基づき『受け入れ難い』と言っている姿勢を貫いてほしい。町長が断念するよう町民と連帯して反対していきたい」と語りました。

◇水戸

福島を直視せよ

水戸市の日本原電茨城事務所前で、東海第2原発（東海村）の廃炉と原発ゼロ社会の実現をめざす377回目の「原発いばらき抗議アクション」が取り組まれ、25人が参加しました。

参加者がリレートークし「事故から9年たつが、放射性物質や汚染水を垂れ流している」「いまだにどれだけの人が故郷に帰れないか。福島事故の惨状から目を背ける国の姿勢は許せない」「経営基盤がない原発は事故が起きても責任は負えない」など、原発を推進する国や電力事業者への抗議の訴えが続きました。「東海第2は今すぐ廃炉」「放射能いらない原発いらない」とコールが響きました。



デモ行進する参加者 11日夕、奈良市

◇奈良

関電前デモ行進

403回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。先週に引き続き6歳女児も参加し、「原発いらない」と元気にコール。関西電力奈良支店前まで29人がデモ行進しました。

「原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会」の堀田美恵子共同代表が、大阪市のうつぼ公園での大集会（6日）と同集会のビデオ視聴会（11日、奈良市）について報告し、「老朽原発を何としても動かさないようにしたい」と訴えしました。ビデオを視聴した天理市の女性が「頑張ろうという気持ちになった」と感想を述べました。

◇金沢

全員「いらない」

石川県志賀町の北陸電力志賀原発の廃炉を求める「どいね☆原発」は、395回目の行動を金沢駅東口（兼六園口）で10人の参加で行いました。

「原発ゼロ」「さよなら原発」と書いたのぼりを立て、原発「いる」「いらない」のシールアンケートを通行人によびかけました。3人組の高校生が近寄ってきて「原発は危ない」「事故が起きたら怖い」と話し、全員「いらない」にシールを貼りました。



高校生グループと原発について対話するスタッフ（右）ら=11日、金沢駅東口

原発再稼働ストップ

◇北九州

こいつこと400回

北九州市の「さよなら原発！北九州連絡会」は、JR小倉駅前で金曜行動に取り組みました。2012年7月から毎週続け、福島第1原発事故から9年半となる節目に400回目を迎えました。

70人が参加し、リレートークや歌声で訴えました。代表の棚次奎介氏は、核燃料の再利用が技術的、経済的にもあらゆる面で行き詰まり、世界的に逆行していると批判しました。

日本共産党の田村貴昭衆院議員、高瀬菜穂子衆議が駆け付けました。田村氏は、「福島の事故の最大の教訓は原発をなくすことだ」と訴えました。

トを見て、「不安になった。原発はない方がよい」と話しました。

◇長崎・大村

火山国は危ない

長崎県大村市の原発ゼロをめざす市民有志でつくる「大村きんもくせい」の会は、JR大村駅前です。原発を訴える「きんもくせい行動」を行いました。

参加者は「さよなら原発」とかかれた大きなタペストリーや「原発再稼働NO!」などのプラカードを掲げ、アピールしました。

全日本年金者組合の浜岸利昭副委員長がマイクを握り、「日本は火山国で地震が多く、原発事故が起る危険性が高い。このような危険な状況を放置したまま、電力を原発に頼り続ける政策は許されるはずがない。一日も早い再生可能エネルギーへの転換を」と訴えました。

◇徳島

脱原発は「国防」

「原発再稼働反対！徳島有志の会」は、徳島市のJR徳島駅前です。421回目の「金曜行動」を行いました。「原発ゼロ徳島」のイレブンアクションも合流し、ともに脱原発を呼びかけました。

原発ゼロ徳島の齊藤隆仁事務局長は「使用済み核燃料は10万年保管しないといけない。後世の人々にツケだけ残す」と強調。服部敏彦共同代表は「福島第1原発の汚染水を海洋放出すれば、再生途上の福島の漁業を壊滅させる」と批判しました。

訴えに足を止めた鳴門市の男性(23)は「放射性物質の脅威から国民を守ることにこそ本当の『国防』だ」と語りました。

金曜行動 9月18日



デモ行進する参加者=18日、奈良市

◇札幌

核のごみノ

札幌市の北海道庁北門前での378回目の道反原発連合の抗議行動。「北海道に核のごみを捨てるな」のボードを手に、「泊原発再稼働反対」とコールを響かせました。

原発から出る核のごみ最終処分場選定問題で、寿都(すつ)町に続き、神恵内(かみえない)村でも反対の声が上がっているとして、橘昇弘代表は「知事は条例を順守し、核のごみを北海道に持ち込ませないと貫いてほしい」と訴えました。



東区の女性は「原発はいらない。核のごみはどこにも捨てさせない。子や孫が安心して住み続けられる北海道になるよう頑張る」と力を込めました。

◇奈良

替え歌合唱行進

404回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。

コール担当の白川史恵さんが、原子力規制委員会が四国電力伊方原発の使用済み核燃料貯蔵施設が新基準に適合していると決定したことを報告し、「これ以上原発を動かすことは許されません」と訴えました。

20人の参加者は、タンバリンや小太鼓を鳴らしながら関西電力奈良支店前までデモ行進しました。6歳の女の子もケミカルライト(発光棒)を振りながら元気に前列を歩きました。行進後に「原、原、原発、原発よ」とかたつむりの替え歌(奈良市の男性作詞)を参加者で合唱しました。

原発再稼働ストップ

◇名古屋

原発ゼロ政権へ

名古屋市東区の中部電力本店前と関西電力東海支社前では、「浜岡廃炉」「さよなら原発」「福島を忘れない」などのプラカードや横断幕を持った参加者がリレートークを行いました。

392回目の行動となった



中部電力本店前でコールする参加者＝18日、名古屋市

た中電前で、マイクを握った武藤聡さん(73)は「原発事故が起きたら生活が奪われ健康被害も起きる。福島で分かったはずだ。菅政権に代わったが、原発に固執するこんな政治はもうごめんだ」と訴えました。

関電前では参加者が「原発ゼロの政権つくろう」「国民の声届けよう」とコール。名古屋市の男性(72)は、「多数の国民が原発反対と言っている。一日も早く原発を止めてほしい。その意思表示をしようと思ってきた」と話しました。

◇高松

本店前でトーク

高松市では「原発をなくす香川の会」などが百貨店前でスタンディングし、有志とともに四国電力本店前でリレートークしました。

再稼働反対を求める旗やプラカードをもって、「ふるさとは原発を許さない」などの歌を歌いました。

原発廃炉を求める参加者＝18日、高松市



参加者は「四電は原発事故を起こさない自信はありますか。南海トラフ地震もリスクが高まっています」

「韓国では台風で原発機能が止まりました。日本でそうならない保証はありません」と訴えました。

参加した井上のぶみさんは「世界では再生可能エネルギーにかじを切っています」と転換を訴え、「被爆ピアノを弾いたことがある」という青年(23)は「一日も早く原発をゼロにした。四国は原発なしで生活が大丈夫だということを示そう」と呼びかけました。

金曜行動 9月25日



「北海道は核のごみ捨て場じゃない」とアピールする人たち＝札幌市

◇札幌 処分場許さない

「北海道に核のごみを捨てるな。怒りのコールが道庁北門前に響き渡りました。道反原発連合の379回目の抗議行動です。寿都(すつ)町長が核のごみ最終処分場に前のめりになる問題で、橋本代表は「町の将来を町長が独断で決めるのは許さない。北海道を核のごみ捨て場にさせず、原発を廃炉に」と訴えました。

◇新潟

再稼働了承ノ

なくそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前17人が参加して382回目の金曜行動をおこないました。

集会では「規制委員会が柏崎刈羽原発の保安規定改定を認め、再稼働を了承した。東電はこの間、失敗を繰り返しているのに、とんでもない」「免震重要棟の耐震性不足を3年たって公表したり、地下道火災の不安」などの報告もありました。



マイクを握り訴える参加者ら＝新潟駅前

◇水戸

「福島」忘れない

東海第2原発（茨城県東海村）の廃炉を求める、379回目の「原電いばらき抗議アクション」が、水戸市内で取り組まれ、24人が参加しました。

参加者はリレートークで「双葉町に原子力災害伝承館ができたが、東電と国の批判をさせないようにして賠償にこそお金を使うべきだ」「コロナ禍でも原発の再稼働工事と沖繩の米軍新基地工事が続けられている。知恵を結集して東海第2の再稼働を止めよう」「今度東海第2で事故が起きれば日本はおしまい。フクシマの惨状を茨城で起こしてはならない」など訴えが続きました。

「東海第2は今すぐ廃炉」「子どもを守ろう、命を守ろう」とコールが響きました。



プラカードを掲げながらリレートークに聞き入る参加者ら＝水戸市

◇奈良

雨の中、声響かせ

「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前で行われ、参加者は「原発いらない」「再稼働反対」などと雨の中、声を響かせました。405回目。

コール担当者が「原子力規制委員会は、東電に福島第1原発事故の責任を問うべきだ」と訴えました。



関西電力奈良支社前でコールする参加者＝奈良市

参加者は、関西電力奈良支社までの片道約600メートルの歩道を、自転車や歩行者の通行を妨げないように気をつけて、デモ行進。2人の女性が、右手にタンバリン、左手に雨傘とポリ袋を持ってゴミ拾いをしながら歩きました。

◇鳥取

早く原発ゼロに

鳥取県では、JR鳥取駅北口前と中国電力米子営業所前で金曜行動が取り組まれました。

鳥取市では、えねみら・とっとり（エネルギーの未来を考える会）の山中幸子共同代表が、福島原発事故が起こるまで原発は「やめると電力不足になる」「発電コストが安い」「温暖化対策」などいわれてきたが、今では再生可能エネルギーの普及や節電で、原発は「やめても電力不足にならない」「発電コストが一番高い」「温暖化対策の決め手は再エネの普及」といわれるようになったと報告しました。



原発ゼロを訴える参加者＝鳥取市

日本は、地震、火山噴火、台風、津波と災害が多く、原発に適した立地はないと強調し、一日も早く原発ゼロにと訴えました。